

構造改革特別区域計画

1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

大阪市

2 構造改革特別区域の名称

ビジネス人材育成特区

3 構造改革特別区域の範囲

大阪市の全域

4 構造改革特別区域の特性

大阪市には、企業の中核機能、研究開発機能等が集積しており、これまで我が国の商品開発センターとして多くの新商品・サービスや企業を生み出すことにより、我が国の経済発展をリードしてきた。

そして現在、産業面では、大阪市域周辺も含めると、ものづくり産業や家電・製薬などの大手企業の集積がある。

さらに、大阪大、大阪市立大といった総合大学に加え、株式会社国際通信基礎技術研究所（ATR）のような最先端の情報通信分野の研究機関も存在する。

これらに加え、大阪市内には、都心部だけで3000社を超えるソフト系IT企業が集積している。

他方、大阪市においても、重点産業分野と位置付けているITに関しては、ソフト産業プラザでITベンチャーの育成に努めるほか、扇町インキュベーションプラザでも、デジタルコンテンツ・ビジネスの育成を図っている。

加えて、産学官連携によるユビキタスネットワークの実証実験を展開している。

さらに、大阪産業創造館において、内外の研究機関の成果を事業化する産学連携事業に取り組むほか、ビジネスマッチングや交流事業などを通じて新しいビジネスの創造を積極的に支援している。

また、創業についても、大阪市では、企業の業種や成長ステージに併せた多彩なインキュベーション事業の充実に努めるほか、大阪産業創造館が創業者向けの多彩なセミナーやきめ細かなコンサルティングを行うなど様々な支援策を実施している。

以上のように、大阪市では産業面で様々なポテンシャルを持つほか、それを活かすための方策を講じているところであるが、業務中核機能の東京一極集中

傾向が続いているほか、事業所の開廃業率でみると全国では開業率 3.76%、廃業率 5.69%であるのに対し、大阪市では開業率 4.25%であるのに対し廃業率が 7.18%と大きく逆転している。(平成 13~16 年データ)

一方、サービス業では、産業別事業所数の比率で見た場合、17.70%と全国比 18.79%を下回っているものの、域内総生産産業別構成比率や産業別従業者数比率では、それぞれ 26.05%、19.11%と全国比 21.73%、14.94%を上回っている状況にある。(いずれも平成 16 年データ)

このような状況を踏まえ、これまで大阪に蓄積されてきたものづくりや IT などの企業集積や最先端や高水準の大学・研究機関の立地というポテンシャルを最大限活用するとともに大阪市自身の取り組みと併せて、大阪を拠点として活躍する人材の育成や競争力を持った付加価値の高い知的ビジネスを振興し、大阪を活発な経済活動が行われ、幅広い雇用が創出される都市に蘇らせることが求められている。

5 構造改革特別区域計画の意義

現在のところ大阪市には上記のポテンシャルや支援策を活かす「最先端の IT 技術に習熟した人材」を体系的に育成できる仕組みが存在しない。

そこで、デジタルハリウッド株式会社が専門職大学院を設置することによって、大阪市の重点産業分野である IT 産業の育成等のための最先端の IT 技術に習熟した人材の体系的輩出を図る。

同社は、これまでマルチメディアスクールとしてビジネスに直結する IT 技術を提供してきたが、新設を予定している専門職大学院の経営にあたってもこれまで蓄積してきたノウハウを活かして、企業が求めるニーズに適合したウェブデザインやコンピュータグラフィックス、映像作成などのサービスを提供し、さらにそれをビジネスに結びつけることができる IT に関するトップクラスの専門技術を持った人材の育成を積極的に進める方針である。

大阪市でも、それ自体が成長性の高い産業であるのみならず、様々な既存産業の効率化にも役立つ「IT 関連ビジネスの振興」を重点的に進めることとしており、このような施策目標を効果的に達成するためには、海外でも通用するトップクラスの技術を持った専門人材の確保が喫緊の課題となっている。

そこで、「学校設置会社による学校設置事業」の特例措置を適用し、デジタルハリウッド株式会社が専門職大学院を設置することにより、IT 関連ビジネスの強化を担うことができる専門人材が集まり、さらにそうした技術を生につけた人材を輩出できる体制を構築する。

さらに、同社が専門職大学院を開設すると IT に関する第一線の専門的知識を有する人材が大阪に集まることにより、産業界との交流を通じて地域の IT

ビジネスの発展に貢献することが期待できる。

こうした高度な IT 技術者の育成とともに、市内に集積する多数の IT 企業や業務の情報化を目指す一般企業に対して、IT に関する基礎的知識と技能を修得した人材の供給を促進することは、市内企業における高度な IT 技術の開発や導入を底辺から支えるとともに、将来高度な IT 技術者が輩出する基盤ともなることから、体系だった IT 技術者の育成として極めて重要である。

なお、デジタルハリウッド株式会社が専門職大学院を設置するにあたっては、大阪市でも経営状況の把握に努めることとするが、万一経営に著しい支障が生じ、又は生じるおそれがあると認められる場合においては、学生の適切な修学を維持できるよう、専門の相談窓口を設け、他校の編入に関する情報などを提供していく。

こうした取り組みは、地域のポテンシャルを活かした産業振興施策を、その中心的役割を担う人材の育成を併せて実施することによって、その効果を飛躍的に高めようとするものであり、全国的に先導的な役割を果たすものと考えられる。

6 構造改革特別区域計画の目標

大阪市では、これまで蓄積してきた様々なポテンシャルを活かして競争力や付加価値の高い知的ビジネスを振興し、大阪を活発な経済活動が行われ、幅広い雇用が創出される都市に蘇らせることを目指している。

このため、IT ビジネスの振興に積極的に取り組むこととしている。

特に、今般規制緩和の特例を活用して重点的に推進する内容は次のとおりである。

「IT ビジネスの振興」

大阪市では、ソフト産業プラザにおける IT ベンチャーの育成、扇町インキュベーションプラザにおけるデジタルコンテンツ・ビジネスの育成に取り組むほか、ユビキタスネットワークのような都市インフラの活用方策も積極的に検討している。

しかしながら、こうした支援策を活用して自ら IT ベンチャーを立ち上げる人材を体系的に育成する仕組みは現在大阪市に存在しない。

そこで、こうした支援策と併せて、デジタルハリウッド株式会社が専門職大学院を大阪市内に設置すると、厳正な入試を通じて基本スキルの高い人材を集めることができる上、修学期間を通じて、体系的な教育ができるため、具体的な技術面だけでなく、時代のニーズの変化にも適合できるより広範囲

な知識を身につけた人材を育成できる。

さらに、同社が専門職大学院を開設すると IT に関する第一線の専門的知識を有する人材が大阪に集まることにより、産業界との交流を通じて地域の IT ビジネスの発展が見込まれる。

これらが相乗的に作用し、世界に向けた IT ビジネス拠点となることを目指す。

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

(IT ビジネスの振興を通じた地域産業の活性化と雇用創出)

大阪市では、大阪が持つポテンシャルを活かすことができるとともに今後の成長が期待できる次代のリーディング産業としてロボット、健康・予防医療と併せて IT 関連ビジネスを積極的に振興することとしている。

規制の特例によって、デジタルハリウッド株式会社が専門職大学院を大阪市内に設置すると、IT 関連分野で最先端の技術を身に付けた研究者が地域に集まる。

こうした研究者が産業界と積極的に交流するとともに、これらの分野に秀でた人材が輩出されると、大阪市による振興策とあいまって企業の技術力・競争力が向上し、大阪における IT 産業の活性化、雇用創出が見込まれる。

これまで同社の卒業生約 5000 人のうち 10%に当たる約 500 人が起業しているが、今般開設する専門職大学院では、この起業率向上を図り、卒業生の 15%が起業すると見込まれる。

また、「個人企業営業状況調査（平成 13 年 3 月）」によると、個人企業（サービス業）の平均従業者数は 1.3 人であることから、次のような起業及び雇用創出が見込まれる。

	卒業生中創業する者	雇用創出見込み
平成 25 年度（見込）	3 人	4 人
平成 26 年度（見込）	1 人	2 人
平成 27 年度（見込）	2 人	2 人

（すべて卒業後 2 年目に起業すると仮定）

また、過去の起業及び雇用の実績は次のとおりである。

	卒業生中創業した者	雇用創出
平成 20 年度	2 人	2 人

平成 21 年度	1 人	1 人
平成 22 年度	2 人	2 人
平成 23 年度	1 人	1 人
平成 24 年度	0 人	0 人

8 特定事業の名称

- ・ 学校設置会社による学校設置事業 (816)

構造改革特別区域計画（別紙）

1 特定事業の名称

学校設置会社による学校設置事業（816）

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

デジタルハリウッド株式会社

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

構造改革特別区域計画の認定の日

4 特定事業の内容

大阪市内で、デジタルハリウッド株式会社が専門職大学院の設置主体となることを認める。

5 当該規制の特例措置の内容

① 概要

デジタルハリウッド株式会社では、主としてデジタルコンテンツ制作者を対象としたサービスを提供しており、設置した専門職大学院の経営にあたってはこれまで蓄積してきたノウハウを活かして、企業が求めるニーズに適合したウェブデザインやコンピュータグラフィックス、映像作成などのサービスを提供し、さらにそれをビジネスに結びつけることができる IT に関するトップクラスの専門技術を持った人材の育成を積極的に進める方針である。

大阪市でも、それ自体が成長性の高い産業であるのみならず、様々な既存産業の効率化にも役立つ「IT 関連ビジネスの振興」を重点的に取り組んできており、このような施策目標を効果的に達成するためには、海外でも通用するトップクラスの技術を持った専門人材の確保が喫緊の課題となっている。

そこで、本件特例措置を適用し、デジタルハリウッド株式会社が専門職大学院を設置することにより、IT 関連ビジネスの強化を担うことができる専門人材が集まり、さらにそうした技術を身につけた人材を輩出できる体制を構築する。

さらに、同社が専門職大学院を開設すると IT に関する第一線の専門的知識を有する人材が大阪に集まることにより、産業界との交流を通じて地域の IT ビジネスの発展に貢献することが期待できる。

<設置する大学の名称>

デジタルハリウッド大学大学院

<学部学科（研究科専攻）および収容定員>

デジタルコンテンツ研究科 デジタルコンテンツ専攻 40名

<学位の名称>

デジタルコンテンツマネジメント修士（専門職）

② 事業展開上の特性

デジタルハリウッド株式会社は、東京都千代田区でも同様の特例措置に基づき大学等を設置しており、大学等の本部は千代田区に設けている。

そこで、大阪市においても円滑な事業展開ができるよう、今後千代田区や本市と同様に学校設置会社による大学等を設置している地方公共団体と充分情報を共有し、必要があれば調整を行う。

③ セーフティネットについて

大阪市では、デジタルハリウッド株式会社が専門職大学院の設置後、定期的に経営状況報告書を提出させたり、経営内容変更時に事前相談を義務付けるなどして、経営状況の把握に努めている。

さらに、万一経営に著しい支障が生じ、又は生じるおそれがあると認められる場合に備え、学生の適切な修学を維持できるよう、大阪市内部の担当を決め、近隣所在の大学等の転入学に関する情報収集、協力要請に努めている。

また、そうした事態が生じた場合には、専門の相談窓口を設け、学生から他校への転入学に関する希望を聴取し、転入学可能な学校に関する情報収集、紹介を行う。

なお、これらのセーフティネットが担保されるために、大阪市では、学校設置会社との間で確認書を交換することとしており、デジタルハリウッド株式会社とは既に交換済みである。